

今村復興大臣ほか年頭訓示

(平成29年1月5日(木) 11:00～11:10 於) 中央合庁4号館220室)

1. 今村復興大臣 訓示

皆さん、新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変皆様にはお世話になりました。また、皆様方はこのお正月、つつがなき日々を送られたと、心からお慶びを申し上げる次第であります。

さて、今年はまだ新たなステージを迎える年であります。早いものでもう復興再生7年目に入る年であります。この間、インフラストラクチャーの復旧・復興を始め、多くの分野で着実に進捗をしているというふうに思っております。これも皆様方始め、また、現地で頑張っておられる多くの方々のおかげと、心から感謝を申し上げます。

しかし、未だに13万人余の方が避難生活を送っておられるし、また、このお正月も仮設住宅で暮らされたという現実もあるわけです。私たちはこういった現実をしっかりと見つめながら、これからもしっかりと現場に寄り添い、そして、一日も早い復興を目指して頑張っていかなければいけないという思いに今、浸っているところであります。

これからの課題は、もう皆様御案内のとおり、生活環境の整備、あるいは産業、生業の再生、そして、何よりも福島復興ということに最大限、力を挙げて取り組まなければいけないわけであり、どうかよろしく願いをいたします。

長い長いこの地球、そして、人類の歴史の中で、私たちは21世紀、そして、この平成のこの時間に、そしてまた日本国というこの地に生を受け、共に生きているわけであり、未曾有のこの大災害、そして、それに対する復旧・復興・再生という、大きな舞台を我々は与えられ、そしてまた、崇高な使命を帯びているわけであり、

どうか皆さん、皆さん方の御家族や友人の方々に、後々の世に渡っても盛り上がって、俺はこういうことをやってきたんだということが言えるような、すばらしい仕事を今年もやっていこうではありませんか。

この難しい仕事に立ち向かうこと、これは正にこれから皆さん方のこの勇気と、そして、行動力に掛かっているというふうに思っております。共に頑張ってみましょう。私も皆様方の先頭に立って、全力を挙げて今年1年頑張ってみます。よろしくお願ひします。

2. 橘復興副大臣 挨拶

改めまして、新年明けましておめでとうございます。

今村大臣を先頭に今年は復興・創生期間2年目、被災地の方々の笑顔が増えれば増えるほど、私たちの元気も出てまいります。一緒に仕事をして、そして、一緒に課題を解決して、そして、明るい未来に向かっていろいろな事態を切り開いていきたい、そんなことで今年も御一緒に頑張ってみてみたいと思います。

私は国会の質問ではいつも万葉集を披露するものですから、お正月に当たって明るくなるような、幸せになれるような歌を一つ披露して御挨拶に代えたいと思って用意してみました。

大伴家持卿が因幡の国司になった時に、お正月、雪がたくさん降っていると。この雪が降るようにいいことがたくさんありますよという歌を披露して、御挨拶とさせていただきます。

「新しき 年の始めの 初春の 今日降る雪の いや重け吉事」
本年もよろしく申し上げます。

3. 長沢復興副大臣 挨拶

明けましておめでとうございます。

今年も皆さんと一緒に復興を加速する年にしたいと思っています。昨年8月に大任を拝命して以来、一生懸命、現場第一主義でこれまでもやってきました。

今年も、私は福島担当ですので、福島県にとっては大変大事な1年になると思っています。3月末をもって、避難指示解除の町、村が多くなっております。まだ3月末で避難指示を解除できないところも残るかもしれません。そういった地域に対して、どういう手を打っていくか、大変大事な時だと思っています。

避難指示を解除すれば終わりではなく、復興の仕事はそこからが一番大事な場面になります。医療や介護や福祉、そして、教育、こうした人々が暮らしていくための大事な生活基盤、これをきちんと整備をしていく、これは正にこれからが大きな問題であります。

現場に入れば入るほど様々な課題が浮かび上がってきますので、その一つ一つを私は避けることなく、逃げることなく全部を拾い切っていく。これが私たち復興庁の仕事であるというふうに思っております。

今年の国会では、福島復興の特措法、この改正が最大の課題になります。特措法の改正をしっかりと成し遂げて、そして、この福島復興を始めとして、東日本大震災復興への大きな分岐点になるような、そういう1年にしていきたいと思っています。皆さんのお力をお借りしたいと思っています。どうかよろしくお願いを申

申し上げます。

今年も1年間頑張ります。どうかよろしくお願い申し上げます。
ありがとうございます。

4. 田野瀬政務官 挨拶

皆様、改めまして新年明けましておめでとうございます。

今年1年、皆様から出てきます知恵、アイデア、または皆様が流す汗、これらがどこの役所にも負けない、そんな1年に私もしたいと思っていますし、政務三役しっかりと頑張っていきます。皆様とともにすばらしい1年になりますように頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願い申し上げます。

短いですが、以上で終わります。

(以 上)